

Michael Lucken (ミカエル・リュケン) 教授講演会

「ギリシャ的日本」

——近現代日本におけるギリシャ古典受容の問題——

この度、近現代日本におけるギリシア古典受容の問題を多方面から論じた *Le Japon grec : Culture et possession*, Paris, Gallimard, 2019 の著者 Michael Lucken (ミカエル・リュケン) 教授 (フランス国立東洋言語文化大学 (INALCO)) をお招きして、下記の通り講演会を開催することとなりました。多くの方のお越しをお待ちしています。

講演要旨

日本では、プラトンがいち早く日本語に翻訳され、明治以降の諸思潮に影響を与えたことはよく知られている。また、20 世紀の日本建築における西洋古典の伝統の重要性も認識されている。文学、彫刻、法律、政治思想についても同様である。私は、19 世紀半ばから今日に至るまで続くこの運動を「ギリシャ的日本」というタイトルで名指しし、その現象の全体像を明らかにすることを試みてきた。この講演では、日本における西洋古典の受容史の概要を説明した後で、2019 年にフランス語で出版された私の本 *Le Japon grec* がフランスでどう評価されたかを紹介する予定である。

2022年11月26日 (土) 15:00-17:00 北海道大学

人文・社会科学総合教育研究棟 (W棟) W517室 (定員48名)

対話者：ルチャーナ・カルディ (関西大)、泰田伊知朗 (東洋大)

参加登録 (前日まで) : <https://forms.gle/866r4XuarbqVu81Y7>



2022年11月30日 (水) 17:00-19:00 東京大学

本郷キャンパス 法文1号館113教室 (定員40名)

対話者：野津寛 (信州大)

参加登録 (前日まで) : <https://forms.gle/oZVHEj9XaCswNvqw5>



使用言語：日本語

対面開催 (オンライン配信は行いません)

- ❖ 当日参加も歓迎しますが、定員を超過した場合にはご入場いただけない可能性があります。また、ご登録後にキャンセルされる場合にはご連絡いただけますと幸いです。
- ❖ 新型コロナウイルスの感染状況の変化等により中止となる可能性があります。ご登録いただいた方にはメールでお知らせします。
- ❖ 両日の講演は同内容となります。

主催

科研費「日本における西洋古典受容に関する包括的・学際的な国際共同研究」(21H00517)

後援

東京大学人文社会系研究科・文学部 哲学研究室、哲学会

問い合わせ：近藤智彦 (北海道大学) kondo@let.hokudai.ac.jp